

1. 重点的に推進する三つの施策

平成25年度～平成29年度（自殺予防情報センター）		平成30年度（自殺対策推進センター）	
重点的に推進する三つの施策	事業報告	重点的に推進する三つの施策	事業計画
<p>I. 地域の実情に応じたゲートキーパーの養成と支援</p> <p>評価指標 →ゲートキーパー養成研修の実施回数, 受講者数</p>	<p>●ゲートキーパー養成 101回 3,778人 専門職から近隣の住民まで幅広い対象に応じた研修や, さまざまな職種間の連携強化を図るための多職種合同での研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般市民対象ゲートキーパー養成研修 36回 1,536人</li> <li>専門職対象ゲートキーパー養成研修 59回 2,155人</li> <li>地域住民への普及に向けた人材養成研修(保健師対象)6回 87人</li> </ul> <p>●ゲートキーパー支援体制構築 ゲートキーパーが孤立しないよう, 相談を受け, 適切な支援機関へつなぐなど, 支援体制の構築に努めている。</p>	<p>I. 様々な分野におけるゲートキーパーの養成と支援</p> <p>評価指標 →ゲートキーパー養成研修の実施回数, 受講者数</p>	<p>●ゲートキーパー養成 ・区と協力し, 一般市民対象研修を実施予定。 ・専門職対象, 特に, 学校関係者, 高齢者の支援者, 行政職員を対象とした研修を実施予定。</p>
<p>II. 自殺未遂者支援, 自死遺族支援の強化</p> <p>評価指標 →自殺未遂者・自死遺族支援について, 自殺予防情報センターが支援を行った件数</p>	<p>●自殺未遂者支援 救急隊, 二次救急病院との自殺未遂者支援におけるネットワーク構築に努めるとともに, 自殺未遂者支援を行う上での連携における課題の検討などを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急隊とのネットワーク事業 救急隊との連絡会議開催 自殺未遂者の救急搬送時に自殺予防啓発カード配布</li> <li>二次救急病院との自殺未遂者支援ネットワーク事業 救急病院協会理事会 救急病院協会加盟医療機関訪問 連携モデル医療機関を選定し, スタッフへの自殺未遂者支援者研修実施, 連絡会議開催, モデル医療機関と精神科病院との連携体制構築</li> <li>関係機関との連携 「いのちをまもる相談チーム」ハイリスク者支援検討会 9回(H25, 26年度) 自殺未遂者支援検討会 2回(H27年度) 自殺未遂者支援連携会議 2回(H28, 29年度)</li> <li>自殺未遂者への継続支援 自殺予防相談等より把握した, 自殺未遂直後の状況にある本人や家族に対し, 時期を逃さず, 適切な医療や専門相談窓口につなぐ等, 自殺未遂者の生活再建を支援し, 再度の自殺企図防止を図る。 事例 12件</li> </ul> <p>●自死遺族支援 関係機関と連携した支援の充実を図るとともに, 普及啓発に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自死遺族法律相談 1回/月 面接55件 電話19件 福岡県弁護士会への委託事業であったが, 平成27年度より, 福岡県弁護士会との共催事業として実施。</li> <li>リメンバー福岡自死遺族の集い 1回/2月 平均18人/回</li> <li>平成28年度自殺予防キャンペーンで, 自死遺族支援をテーマにフォーラムを開催。 参加 109人</li> <li>自殺予防相談における自死遺族に関する相談件数 414件</li> </ul>	<p>II. 自殺未遂者支援, 自死遺族支援の強化</p> <p>評価指標 →自殺未遂者・自死遺族支援について, 自殺対策推進センターが支援を行った件数</p>	<p>●自殺未遂者支援 ・救急隊とのネットワーク事業 連絡会議開催予定。 ・二次救急病院との自殺未遂者支援ネットワーク事業 2か所目の連携モデル医療機関との連携開始。今後も連携モデル医療機関を追加予定。 救急病院協会加盟医療機関連絡 救急病院職員等を対象に自殺未遂者支援者研修の開催</p> <p>・関係機関との連携 自殺未遂者支援連携会議を開催予定。(自殺未遂者支援者研修等への自殺未遂者支援者連携会議機関への協力依頼)</p> <p>・自殺未遂者への継続支援 自殺未遂歴はなくとも自殺の危険が差し迫っている方にも対象を広げて支援する。 自殺未遂者の相談窓口等のPRに努める。</p> <p>●自死遺族支援 ・福岡県弁護士会との共催である自死遺族法律相談を継続開催予定。 ・リメンバー福岡自死遺族の集いを共催で継続開催予定。 ・自死遺族の相談窓口のPRにつとめる。自死遺族の相談には関係機関と連携して支援する。</p>
<p>III. 若年層, 児童・生徒への自殺予防に資する教育の推進</p> <p>評価指標 →教職員に対する関連研修の実施回数</p>	<p>●「学校における自殺予防」研修媒体制作 市立の全小中学校で実施している「Q-Uアンケート」を活用した「学校における自殺予防」研修の媒体を, 教育委員会, スクールカウンセラー, 福岡市精神保健福祉センターで構成する検討会により制作し, 福岡市立小・中・高等学校・特別支援学校へ配布。</p> <p>●自殺予防に関する講演会, 研修 35回 1,849人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員等対象ゲートキーパー養成研修(H28年度より「学校における自殺予防」テキスト活用)30回 1,165人</li> <li>教育現場における自殺予防講演会 1回 28人</li> <li>働く若者のための認知行動療法講演会 1回 182人</li> <li>若者や若者支援者を対象としたフォーラム開催。 参加 175人(H27年度)</li> <li>子どもの自殺の現状と課題をテーマにフォーラム開催。 参加 90人(H29年度)</li> <li>大学生対象ゲートキーパー養成研修 1回 209人</li> </ul> <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断時や新入生説明会, 就職活動イベント等での高校生・大学生等への自殺予防啓発カード配布</li> <li>自殺予防相談における若年層(30歳未満)に関する相談件数 416件</li> </ul>	<p>III. 若年層, 児童・生徒への自殺予防に資する教育の推進</p> <p>評価指標 →教職員に対する関連研修の実施回数</p>	<p>●自殺予防に関する研修 ・「学校における自殺予防」研修 教育委員会と協力して, 教職員を対象とした「学校における自殺予防」研修実施を推進する。また, 実施状況を教育委員会と共有する。 ・養護教諭対象自殺予防研修を開催 ・大学等教職員, 学生を対象とした自殺予防 自殺予防キャンペーンの一環として, 学生ボランティアスタッフの協力を得たゲートキーパー養成研修の開催予定。 大学生等の自殺予防に関する意見交換会の開催予定。</p>

## 2. その他

項目	平成25年度～平成29年度（自殺予防情報センター）	平成30年度（自殺対策推進センター）
相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>自殺予防相談 電話4,956件、面接163件</li> <li>自殺予防のためのこころと法律の相談会 電話15件（H26年度～H29年度） 面接80件（H25年度～H29年度）</li> <li>こころと借金の電話相談8件（H25年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自殺予防相談を継続。広報に努める。</li> <li>自殺予防のためのこころと法律の相談会を自殺予防キャンペーンの一環として実施予定。</li> </ul>
人材養成事業 (GK養成研修以外)	<ul style="list-style-type: none"> <li>かかりつけ医うつ病対応力向上研修（福岡市医師会委託） 132人（H27年度まで）</li> <li>精神保健福祉等関係者うつ病対応力向上研修（福岡市薬剤師会委託） 188人（H28, 29年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神保健福祉等関係者うつ病対応力向上研修（福岡市薬剤師会委託）</li> </ul>
普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>自殺予防キャンペーン 各年度の9～10月、2～3月に実施。</li> </ul> <p>身近な自殺問題～福岡市フォーラム</p> <p>2014 121人 講演：大切ないのちを守るためにひとり一人ができること他</p> <p>2015 132人 講演：言う気（勇気）がわくほっとけないさん研修 講演：見つめ直そう、ご近所の力を～私たちはほっとけない他</p> <p>2016 175人 講演：若者に伝えたい「分人主義」～社会を生き抜くために他</p> <p>2016秋 109人 講演：大切な人を自死でなくすとは～自死遺族への理解と対応他</p> <p>2017 90人 講演：学校における自殺予防他</p> <p>働く若者のための認知行動療法講演会 182人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各区健康フェア、街頭キャンペーン、スポットCMIにおける啓発 ・大学等の健康診断時や新入生説明会で自殺予防啓発カード配布</li> <li>全国労働衛生週間実施要綱等説明会「福岡市の自殺対策について」 2回 864人</li> <li>メンタルヘルス対策セミナー（福岡ブロック）企業の健康管理担当対象、自殺・アルコール健康障害をテーマに実施3回1,580人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自殺予防キャンペーン 9月自殺予防週間、3月自殺対策強化月間にあわせて実施予定。フォーラム・・・第1部では、市内の大学等の学生ボランティアの協力を得て、一般市民を対象としたゲートキーパー養成研修を実施予定。第2部では、ボランティア学生同士の意見交換会を実施予定。今後開催予定である、大学生等へのゲートキーパー養成研修の参考とする。</li> <li>各区健康フェア、街頭キャンペーン、スポットCMIにおける啓発</li> <li>大学等の健康診断時や新入生説明会で自殺予防啓発カード配布</li> <li>メンタルヘルス対策セミナー（福岡ブロック）企業の健康管理担当対象、自殺・アルコール健康障害をテーマに実施予定</li> </ul>
うつ病対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>うつ病市民啓発講演会 5回 819人</li> <li>うつ病家族教室 16回 281人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>うつ病市民啓発講演会 3月頃（自殺予防キャンペーンの一環として）</li> <li>うつ病家族教室（2回コース）疾患について、リワークについてなどをテーマとした講話及び家族交流の場を設ける。</li> </ul>
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡市自殺対策協議会 7回</li> <li>福岡県・北九州市との連絡会議 7回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡市自殺対策協議会 継続</li> <li>福岡県・北九州市との連絡会議 継続</li> </ul>
調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>H26年度 全国精神保健福祉センター研究協議会発表 ・H27年度 日本自殺予防学会発表</li> <li>H27年度 全国精神保健福祉センター研究協議会発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H30年度 全国精神保健福祉センター研究協議会発表</li> </ul>

参考 表1ゲートキーパー養成研修

対象	回数	人数	
一般市民	一般市民	14	535
	民生委員児童委員	10	556
	大学生	1	209
	理美容組合	10	217
	ボランティアグループ	1	19
	小計	36	1,536
専門職	医療・福祉職	10	414
	行政相談業務職員等	2	18
	行政窓口職員等	2	32
	保護課ケースワーカー	7	166
	救急隊員	2	220
	地域包括支援センター	2	27
	教職員等	30	1,165
	保健師	1	9
	多職種合同（保健師・看護師・臨床心理士・精神保健福祉士・社会福祉士・保護課ケースワーカー・保育士・民生委員児童委員等）	2	99
	クレジット・メリング協会	1	5
小計	59	2,155	
地域住民への普及に向けた人材養成	保健師	6	87
合計	101	3,778	

表2自殺予防相談 電話

	H25度 (10～3月)	H26度	H27度	H28度	H29度
電話	125	608	1,109	1,387	1,727
再掲 自死遺族に関する相談	10	73	67	123	141
再掲 当事者20歳未満の相談	14	2	19	80	81
再掲 当事者20～29歳の相談	5	24	41	81	69

表3自殺予防相談 面接

	H25度 (10～3月)	H26度	H27度	H28度	H29度
面接	23	39	35	28	37